



おぎぬまXの動物マンガ連載開始!



おぎぬま X 4コマパトラー

笑うメディアクリエイターというサイトでなんとマンガを連載させていただくことになりました!ばんざい!『おぎぬま Xの4コマ空間』で検索!

スタープレイヤーの移籍

先月まで、こどもの国駅前のコンビニ・スリーエフが一カ月の改装期間となっていた。なんでも、これからは「ローソン・スリーエフ」になるとのこと。このコンビニの改装について知ったとき、まさぎに思ったのが、ここで働く友人はどうなってしまうのだろうか、ということだった。このスリーエフでは、小学校以来の友人が長らく店員として働いている。彼は、わたしが夜遅く地元に戻り来店した際には「遅くまでお疲れさま」とねぎらいの言葉をかけてくれ、客の少ない深夜に行くところとした世間話などに付き合ってくれた。そういうとき、わた

しは猛烈に「ここがオレのホームタウン!」とおもえるのだ。

しかし、そのコンビニが改装となった。もしかして、スタッフも一新してしまうのでは? そうならずとも、これを機に彼が辞めてしまうのでは? と心配になり、すぐさまこの件について当人に問い合わせた。すると、「なんも変わらず働き続ける。」とのクールなこたえ。それを聞いて、わたしはホッと胸をなでおろしたのだ。

そうかそうか、彼はこれからまた心機一転、新しいローソン・スリーエフのユニフォームを着るわけだ……と思いを馳せたところで、え? 新しいユニフォーム? それってめちゃめちやカッコいいことなんじゃ

ないかい? と猛烈に思った。

よく考えてほしい。ふつうの会社員なんて転職したところで同じスーツを着るだけだ。会社が変わって、着る服が変わることなんて、あまり経験できないことだ。あるとするならば、サッカー選手や野球選手である。そう思うと、頭の中で、友人が移籍会見をこどもの駅前のコンビニでおこない、多くの報道陣に囲まれてシャツの上から(よくあるやつ)真新しいコンビニのユニフォームに袖をとおす姿が浮かんできた。そして、彼はすまして「なんも変わらず働き続ける。」と言いつつ。カッコいい!ああそうか! 友人はホームタウンの生活を支えるオレのスタープレイヤーなんだ。



サリー志村 編集者

リニューアルが遅れてすいません。

この町の記憶

安原まひろ



ホーム

先週降った大雪がまだどこどこに残っているというのに、春の予感が感じられる日だった。妻と、2歳になる息子と3人で、久々に出かけたこどもの国。少し汗ばむくらいの陽気に、息子は芝生の上ではしゃぎ回り、今はベビーカーの上で力尽きている。

夕飯の相談をしようと妻に話しかけた僕は、隣にいる僕らと同じような子供連れの夫婦が目に入り、固まった。そこで子供のマフラーを巻き直していたのは、かつて僕とつきあっていた人だった。

あの大雪の日のことを思い出す。当時、彼女にメールで別れ話を切り出された僕は、電車で説得に向かうために駅に向かった。しかし僕を待っていたのは、雪で崩落した屋根だった。当然列車は運休し、僕は彼女へのルートを絶たれた。弁明のメールも電話も、意味がなかった。半年後には、会社の男と子連れで結婚式を挙げている彼女の姿がSNSに掲載され、僕はしばらくバーに通うことを止められなかった。

彼女もまた、僕に気がつき、二度見して、すぐに子供に話しかけた。僕もまた、妻に言いかけた夕食の相談を続けた。

今、僕は幸せだ。しかし、こうして目の前で幸せを目にする、今の妻と出会うまでの期間の胸の痛みもやが、再び漂っているのを感じる。あちらは、きっとそんなことも構いなく、僕などは過去にできているのだろうか。「どうしたの? 知り合い」

妻は怪訝そうに聞いてきた。「え、なにが?」とごまかしの台詞を口にしたその時、向こう側の息子が突然走りだして、僕の息子のベビーカーに当たった。「あ、ちょっとこら! なにやってんの」

とあちらは大慌てで走って、暴れん坊を抱き上げて叱ったが、驚いた僕の息子は目を覚まして泣き出し、穏やかだった空気が急に張り詰めた。あちらの夫婦はすぐに妻に謝った。妻は息子をあやしめながら、「いえいえ、大丈夫ですよ」と答えた。あちらの旦那も深々と頭を下げた。僕も同じくらい頭を下げながら「気にしないでください」と答える。そして僕が顔を上げた時、そこには、軽く頭を下げながらも、こちらを上目遣いでじつと見る、懐かしい顔があった。

桜が散る公園で、新しく買ったパステルカラーのパンプスの色を褒められたとき。真夏の熱帯夜にコンビニに向かう道すがら、死んでいると思った蝉が動き出して驚いたとき。事を終え、秋雨の音に合わせて寝息を立てる隣の彼女に布団をかけてるとき。あの瞬間にあったものが、そこにはあった。僕は、別れを告げるように、静かに頷いていた。

冬を思い出させる風が吹いた。2両編成の電車がホームに入ってきて、扉が開く。車内に入り、あちらと離れたシート座り、泣き止んだ息子の上にタオルをかけながら妻はまた聞いた。「知り合い?」と。僕は「違うよ」と、透き通るように答えた。



安原まひろ 編集者

アート系の出版社に転職しました。

国マガ配布店

- 【こどもの国地区】 ●GRIVE(コーヒー) ●こどもの国歯科(歯科) ●シュタットシンケンかくれが工房(ハム/ソーセージ) ●スリーエフ・こどもの国駅前店(コンビニ) ●なごみ(そば) ●奈良地区センター ●炭火焼肉はち(焼肉) ●Bacchu(s イタリアン&バー) ●MONT(パン) ●こどもの国のくすり屋さん(薬屋) 【奈良北地区】 ●かつ元(とんかつ) ●Coonie(パン) ●昭和書房(本/文具) ●街の家族(コミュニティハウス) ●felicea(美容室) 【青葉台地区】 ●KOGA(美容室) ●COPPET(パン) ●SoulCocktail'sAOBADA(バー) ●246亭(ラーメン)

国マガからのおねがい

リニューアルした国マガはいかがだったでしょうか? 早いもので今年国マガは5周年を迎えます。これからも末永く頑張っていきたいと思っております!……と元気よく言いたいところですが、実は、近年、われわれ国マガは財政の悩みを抱えています。実は、運営メンバーにも紆余曲折があり、お小遣いで印刷費諸々を賄うのがキビしくなってきたのです。

打開策をいろいろ考えた末、「国マガ 電子版」という新しい試みも始めることにしました。インターネットのサイトの「note」という投稿サイトを利用して、お馴染みの国マガメンバーが毎週記事をアップしていきます。この「国マガ 電子版」の記事は有料となります(とはいっても、ひとつ百円とかです)。ここで稼いだ額で印刷費を賄おうという考えです。寄付感覚で記事を買ってくれたらうれしいです!

おしらせ

- 「国マガ 電子版」ができました! 毎週月曜更新予定! URL: <https://note.mu/kunimaga>
- ホームページができました! すべての情報はここで! URL: <https://kunimaga.jimdo.com>
- 次号の紙の国マガの配布日は3月15日です。

こどもの国系情報誌「国マガ」国マガ Vol.47
 発行日 2018年1月31日
 発行人 サリー志村
 デザイン ヨシミユキ
 顔イラスト 柏木翔子、ムラウチミレイ
 連絡先 kunimaga920@gmail.com
 Facebook <https://www.facebook.com/kunimaga/>